

京都民科歴史部会主催

研究会「身体へのまなざし」

コロナ禍における物理的距離の確保やいわゆる「3密」回避の要求によって、これまで以上に、あるいはこれまでとは変わったかたちで、自身や他者の「身体性」について考える機会は増えたように感じます。そうした経験を経た地点から、歴史的な「身体へのまなざし」の問いなおしを試みるのが、本研究会の目的です。

■日時：2021年3月22日（月）13：30～17：00

■開催方法：ZOOMによるオンライン開催（要事前申込）

■プログラム

福元健之（日本学術振興会特別研究員） / 趣旨説明

小山田真帆（京都大学・日本学術振興会特別研究員）

「古代ギリシアにおける男の身体

— 同性愛関係における身体性をめぐる議論から—

渡邊裕一（福岡大学）

「ペスト患者へのまなざし—中近世アウクスブルクのペスト文書—」

春日あゆか（広島大学）

「社会問題になる個人の身体—19世紀イングランドの大気汚染と統計—」

東風谷太一（東京外国語大学）

「ビールは頬を赤くする？—19世紀ドイツにおける栄養源としてのビール—」

研究会運営： 函師宣忠・福元健之・小野塚航一

参加をご希望の方は申し込みフォーム (<https://forms.gle/aVf4p7vWbQJx1rEC9>) よりお申し込みください。同フォームへは下記のQRコードからもアクセスできます。



京都民科歴史部会

公式ウェブサイト：<http://kyomin.info/>

 公式twitter：https://twitter.com/minka_kyoto

 公式Facebook：<https://www.facebook.com/kyotominka/>

